

<p>【技術の名称】 イチケン式 杭頭余盛除去バケット工法 -場所打ちコンクリート杭の杭頭処理工法-</p>	<p>性能証明番号 : GBRC 性能証明 第18-13号 性能証明発効日 : 2018年10月16日</p> <p>【取得者】 株式会社イチケン</p>
---	--

【技術の概要】

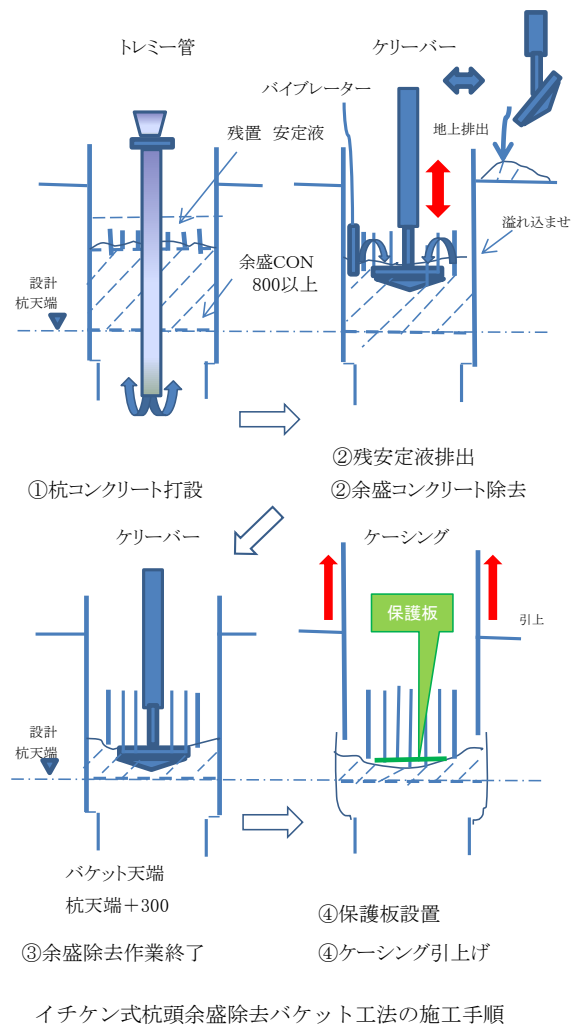
本技術は、杭頭余盛部の処理において、コンクリート未硬化時の溢れこませ除去とコンクリート硬化後のはつり取りとの併用除去工法であり、場所打ちコンクリート杭のうち、アースドリル工法に適用する。申込者が開発した平バケットによるコンクリート未硬化時の溢れこませ除去は、杭機ケリーバの先端に装着した平バケットに、棒状パイプレーターを用いて余盛コンクリートの上澄み部を溢れ込ませ、地上に引き上げ排出する方法により行い、一般的な余盛高さ 800mm 程度の状態から、余盛高さが 300mm 程度になるまで排出作業を繰り返す。コンクリート硬化後のはつり取りは、残存させた高さ 300mm 程度の余盛部分について、従来通りの機器を用いて行う。

【技術開発の趣旨】

場所打ちコンクリート杭の杭頭部には、杭孔削孔時の不純物や安定液の混じった不良なコンクリート部分が存在するため、設計杭天端より高く打ち上げ、その不良な物が混ざった余盛の除去・処理を行う。余盛の除去は、硬化後の大型ブレードによるはつり作業が主流であり、工事現場周辺への騒音・振動・粉塵の悪影響を及ぼす他、工事作業環境の悪さが問題となっている。本技術は、杭築造の専門職工が一貫して平バケット処理まで行えるため、職種間調整や全体の作業効率を著しく改善できるとともに、余盛コンクリートのはつり量を低減することで、工事現場周辺や作業環境への悪影響を低減できる杭頭処理技術として開発した工法である。

【性能証明の内容】

本技術についての性能証明の内容は、以下の通りである。
 申込者が提案する「イチケン式 杭頭余盛除去バケット工法 施工マニュアル」に従って余盛部を処理した場所打ちコンクリート杭は、杭構造体として下記の品質を有する。
 (1) 平バケットによる余盛除去に関わる悪影響を受けない。
 (2) コンクリート強度は、通常どおりに現場で採取した供試体によって検査できる。



【本技術の問い合わせ先】

株式会社イチケン 担当者：堀本 俊治
 〒105-0023 東京都港区芝浦 1-1-1

E-mail : horimoto-t@ichiken.co.jp
 TEL : 03-5931-5630 FAX : 03-5931-5639